

平成30年5月16日
溶学研第30－10号

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 芹澤 久
JIW第3委員会
委員長 芹澤 久
(公印省略)

開催通知

第121回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お繰合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。なお、ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mailにて、事務局に平成30年6月4日(月)までにお知らせ下さい。

記

1. 日時

平成 30年 6月 11日(月) 10:30～16:45

2. 場所

キャンパス・イノベーションセンター東京 1階 国際会議室 (東京・田町)
(案内図をご参照下さい) 住所: 東京都港区芝浦3-3-6

3. テーマ

各種材料の接合及び各種接合技術の比較

4. 幹事会のお知らせ

昼食休憩時に幹事会を開催いたしますので、役員および幹事 (または代理) の方はご参集下さいますようお願い申し上げます。
会場は後日ご案内いたします。

☆出席人数が一事業所2名を越えますときは、3人目から、資料費として1名につき2,000円を納入願います。なお、その場合は、あらかじめ返信メールにてお知らせ下さい。

☆昼食は、各自ご用意下さい。

第121回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

ー各種材料の接合及び各種接合技術の比較ー

1. 日 時：平成30年 6月 11日(月)10:30～16:45
2. 場 所：キャンパスイノベーションセンター東京（CIC東京）1階 国際会議室
3. プログラム（都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます）

時間	題 目	講 演 者
10:30 ～ 11:15	抵抗スポット溶接部における 温度・応力変化を考慮した水素拡散解析 (MP-646-2018)	JFEスチール(株) ○川邊直雄、松田広志、沖田泰明 池田倫正(現JFEテクノリサーチ) 大阪大学 三上欣希、望月正人
	抵抗スポット溶接部の遅れ破壊発生挙動を実験により評価し、その発生メカニズムについて、数値解析を用いて応力・水素の観点から考察した。	
11:15 ～ 12:00	高強度鋼板抵抗スポット溶接継手の 接合強度に及ぼすナゲット硬さの影響 (MP-647-2018)	大阪工業大学 的場佑太、伊與田宗慶、 ○前野圭佑
	本研究は高強度鋼板抵抗スポット溶接継手の接合強度に及ぼすナゲット硬さの影響について明らかにする目的で、Ni箔インサート抵抗スポット溶接手法によりナゲットのオーステナイト化を図り、ナゲット硬さを大幅に低下させた継手の接合強度に関する実験から、接合強度に及ぼすナゲット硬さの影響について確認する。また、実験での硬さ分布を再現した継手モデルによる構造解析を用いて、接合強度に及ぼすナゲット硬さについて考察を行う。	
12:00 ～ 13:15	昼食および休憩（幹事会の開催）	
13:15 ～ 13:30	表彰式および委員会（軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会）議事	
13:30 ～ 14:15	スポット溶接での引張せん断強さに対する 試験片寸法の影響について (MP-648-2018)	大阪大学 接合科学研究所 ○松山欽一、里中忍
	スポット溶接の引張せん断試験片には狭幅試験片と飽和板幅試験片の2種類が独立に決められている。しかし、使用者の立場ではこの規定は不便である。本報告は、力学的な相似則を根拠にして、数値計算で求めた関係から試験片寸法に対する無次元整理の可能性をまず示し、次いで既存の実測データを用いてこの考えの妥当性を証明した結果をまとめたものである。	
14:15 ～ 15:00	レーザメタルデポジション法による複合材料の3D造形 (MP-649-2018)	(株)東芝 生産技術センター ○津野聡、大野博司、 塩見康友、岡田直忠
	造形速度359cc/h、造形精度±30umを達成したレーザメタルデポジション方式金属3Dプリンターを用いて、ステンレス、Ni基合金、銅等の複合材料からなる造形を行い、機械特性等の評価を行った造形に使用したパウダー吐出ノズルの設計についても報告する。	
15:00 ～ 15:15	休 憩	
15:15 ～ 16:00	アルミニウム—樹脂射出接合継手の接合性評価 (MP-650-2018)	(株)神戸製鋼所 ○青木拓朗
	本研究では、金属間に樹脂を射出流入させて接合したときの継手強度特性を調査し、アルミニウム材の表面調整による強度特性の改善効果の確認を行った。間隙を設けた2枚のアルミニウム板間にナイロンを射出流入させ、アルミニウム／樹脂射出接合継手とした。接合継手強度は引張せん断試験片および十字引張試験片により評価した。また、接合継手強度に及ぼす試験片形状および樹脂射出温度の影響に着目した。	
16:00 ～ 16:45	日本伝統工芸・截金における 金箔の焼き合わせ接合工程 (MP-651-2018)	東京理科大学 ○大橋修、春本高志、木村隆、 小野寺浩、相原健作、並木秀俊
	日本の伝統工芸・截金における金箔の焼き合わせ接合工程を調査した。その結果、表面の組成制御で「接合の防止」と「接合」を制御する、古代の巧のわざを紹介する。	

○:講演者

＜キャンパス・イノベーションセンター東京＞

J R山手線・京浜東北線 田町駅下車 芝浦口から徒歩1分
都営三田線・浅草線 三田駅下車 A 4 出口から徒歩5分

